

## 第二十回「酪友フォーラム」

# 林農林大臣夫人に魅了

(十一月二十七日 山口県)

西日本酪農青年女性会議(委員長 二若信彦)主催の酪友フォーラムが開催され、西日本各地から七十六名が参加し、酪メンバーズクラブから井上正芳委員長と山延伊久江さん、竹ノ内寛治主任(広酪東部事業所)が参加した。

開会にあたり、二若信彦委員長は、「東京オリンピックも決まり活気づいている雰囲気はあるが、円安が一年続く状況の中で酪農経営としては非常に厳しい。十月から乳価五円の値上げがあったが、今後においては牛乳の売上動向がどのようになって行くのかが大変気がかりである。また、生産現場の情勢を一人でも多くの消費者へ理解を求めるために、当会議でも活動を展開している」と挨拶された。

地元・山口県酪の原田康典組合長は、「第一回の酪友フォーラムは酪農家自らが運営していく主旨で開催されて以来、今日まで継続されている事に感銘を受けている」と歓迎の挨拶を述べられた。

フォーラムでは、二名の講師を迎え、それぞれの講演を聞き、参加者同士の交流を深めた。講演骨子は次のとおり。

### ■研修一

「妻として、母として、  
自分自身として」

講師 林 裕子さん

(林芳正農水大臣夫人)

林夫人は、自己紹介を交え、農水大臣との馴れ初めや、現在の自分の職業などの紹介をされた。とても上品な話し方でありながら、要所要所では会場を笑いで沸かせるなど、とても楽しい講演であった。

印象的だったのは、「女性が活躍している、していない」の指標で、日本女性は世界一〇五位と大変低く、また、イノベーション(製品開発、新生産方式の導入、新市場の開拓、新原料・新資源の開発、新組織の形成)に関して、酪農分野でも色々な結び付きによって、消費者をまだまだ引き込む事ができるのでは無いかとの示唆があった。女性の参加者の多くが共感した様子であった。

### ■研修二

「牛乳・酪農の歴史と未来」

講師 久保園 弘技監

(全酪購買部生産指導室)



#### 一 牛乳・酪農の歴史は？

牛は、五千年前の古代エジプトで搾乳されるレリーフが残されており、日本では奈良時代から平安時代まで牛乳を飲む習慣があったものの、朝廷衰退後、飲まれた記録は無い。

その後、徳川八代将軍・吉宗が三頭の白牛を導入し、明治時代には商業的酪農となった。また、福沢諭吉が「学問のすすめ」や「肉食之説」で「牛乳や牛肉の良さ」を紹介し、岩倉具視は政府に牛の輸入を進言、昭和に急速に発達したと話された。



(講演する林農相夫人)



## 二 酪農の魅力

酪農を取り巻く状況は、TPPの不安や消費動向、為替の影響など、様々な問題がある中で、「酪農の魅力」は、生産したものは必ず売れて、他の農産物と比べて安定している事を挙げられた。

また、儲かっている酪農家の傾向は、「飼養管理やカウコンフォートが良く、個体乳量が高い」、「自給粗飼料増産・エコフィードの利用による飼料コスト低減」、「ET和牛・初妊牛販売」、「死亡率が限りなくゼロ」のうち二つの条件を満たしていると示唆された。

## 三 後継者対策のポイントとは？

農業全体で後継者は三割を切る状況の中で、酪農家は約六割が担い手を確保している。経営を譲る側にとつては、第三者継承、又は親子間継承であっても意欲を重視する必要がある。後継者が引継ぐものは、有形無形等の資産があるが、無形資産であれば経営権と経営能力がある。経営能力となると、継承前からの後継者育成が重要である。しかしながら、継承理由が単純に「長男だったから・・・」などといった家の都合によるところが多い。親子間での衝突によって就農をあきらめる事

も多々あ

るが、就農に對しての理想は、幼年、青年、成人、壮年期、それぞれでの役割や責任を移行していく必要がある。①理念、②家計、③牧場の利益を考え、経営方針・投資戦略の明確な農家は儲かっている。



## 四 牛乳・酪農の未来と展望は？

日本は飲用と加工が半々の需要であるが、先進国は「飲用向け」より「加工」の占める割合が多く、今後は飲用比率を下げる必要があるかもしれない。世界的には乳製品需要は急速に増えていることから、今後の展望は期待できる。酪友フォーラムは、会員相互の懇親を深めるのも目的のひとつということもあり、今後の酪農の将来を担う方々は和氣藹々と情報交換など楽しいひとときを過ごされた。

## お知らせ

# 農業機械士試験のお知らせ

平成 25 年度農業機械利用技能者(農業機械士)技能認定試験が実施されます。

受験案内は、広島県ホームページにも掲載されています。応募希望の方は、広島県ホームページアドレスからアクセスして下さい。

<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/84/25nougyoukikaisi-ninteisiken.html>

### 1 技能認定試験の種類

農業機械士技能



### 2 試験願書の受付期限及び試験日時・場所

受験願書の受付期限	平成26年 1月 31日(金) 必着		
試験の日時	当日受付	平成26年 2月 14日(金)	13:00~13:20
	オリエンテーション		13:20~13:30
	学科試験	農業機械士技能	13:30~14:30
	実技試験	農業機械士技能	15:00~17:00
試験場所	〒727-0003 庄原市是松町55-1 広島県立農業技術大学校		

\*試験当日には、免許の種類を確認するため、自動車運転免許証を持参すること

多数のご参加を  
お待ちしております!!

# 3月7日 酪農セミナー

グランラサーレ三次

## ～演題：乳牛のための分娩管理～

酪農経営安定を図るには、乳用牛の栄養管理・繁殖管理・分娩管理など飼養管理の総てにおいて、重要となるポイントがあります。

せっかく、栄養管理、繁殖管理が適正であっても分娩管理に問題が生じ、対象乳用牛を事故で失えば、経営者の精神的なショックとともに、酪農経営に大きなマイナスをもたらします。

今回の講演会は、「乳牛のための分娩管理」に焦点をあてた内容となっております。

開催時期は、来年3月7日となっておりますが、各地域の酪農家の皆様が任意に組織されます酪農部会組織の構成員各位にも多数の参加となるよう呼び掛けを頂きますようご案内します。

開催日時：平成26年3月7日(金) 午前11時～午後3時  
開催場所：グランラサーレ三次 三次市十日市南1丁目5-5  
演題：『乳牛のための分娩管理』  
講師：帯広畜産大学 臨床獣医学 予防獣医学分野  
准教授 石井 三都夫 先生

日本産業動物獣医学会北海道地区学会長賞、(社)日本馬事協会優良指導技術者賞、日本獣医学会獣医繁殖学分科会賞、神翁顕彰会神賞ほか多くの賞を受賞。

主催：公益財団法人 森永酪農振興協会  
共催：広島県酪農業協同組合



### 【演題要旨】

27年間、北海道において獣医師としての臨床経験を通じて、ここで得られた多くの出産データ・監視装置によるテストデータをもとに分析・研究を重ねられました。

この研究で得られた結果をもとに、生産者や関係者の皆様の経済的利益と精神的豊かさが得られる技術が紹介されます。

- ①臨床現場における分娩事故の実態と対策
- ②死産、難産の原因と対策
- ③体格と分娩事故との関係
- ④安全な分娩誘起
- ⑤分娩監視の重要性、分娩監視機器の導入例
- ⑥難産が子牛に及ぼす影響
- ⑦初乳の栄養学的重要性
- ⑧臨床現場での死産事故改善事例の紹介
- ⑨乳房炎ほか感染症に対する対策
- ⑩周産期疾病予防に対する栄養学的アプローチ
- ⑪その他



### 【お願い】

この講演をより身近に感じて頂くため、日頃の飼養管理や繁殖管理など酪農経営上での悩み・相談などありましたら、平成26年1月15日(水)までに広酪までお寄せ頂ければ幸いです。

お寄せ頂いた悩み・相談事への回答は、当日の講演の中に織り込み、触れて戴きます。

質問等申込先 広酪事業推進課 中山篤志課長 FAX：0824-64-2233

E-mail：hr.bosseisan@celery.ocn.ne.jp

# 海外から口蹄疫の侵入を防止する取組

## 1 概要

現在、中国、モンゴル、ロシア極東地域で口蹄疫等が継続して発生しています。口蹄疫の発生防止対策として、国内では、各農場において飼養衛生管理基準を遵守していただいています。また、海外から我が国への侵入防止対策として、国際便が就航する空港や港で、渡航者及び帰国者を対象に靴底消毒、手荷物検査及び車両消毒等が動物検疫所で行われているので、その取組について紹介します。

## 2 海外からの侵入防止対策

### (1) 空港での侵入防止対策

- ・発生地域へ就航する国際線通路に消毒用マットを設置しています。
- ・発生地域からの畜産物の持ち込みを禁止しています。
- ・家畜伝染病発生地域への渡航者に家畜との接触及び関係施設立入を自粛して頂いています。  
→(必要に応じて畜産関係施設で使用した衣類、器具等の消毒実施)
- ・海外入国者、帰航者に対する国外の畜産関係施設への立寄り状況の質問を行っています。  
→(機内アナウンス、一部の便では質問票の配布)



搭乗ゲートの消毒用マット設置



注意喚起, 搭乗者用消毒用マット



靴底消毒の実施  
(出典: 動物検疫所 HP)

### (2) 港での侵入防止対策

- ・日本に到着するフェリーには車両を積載している場合があり、車両に家畜の病原体が付着している可能性があります。
- ・家畜の伝染性疾病が日本に侵入しないよう、フェリーに到着した全ての車両について、徹底した消毒が行われています。



消石灰散布による車両消毒



消毒用マットを設置し, 車両消毒を徹底



(出典: 動物検疫所 HP)

問い合わせ先

広島県農林水産局畜産課

西部畜産事務所・西部家畜保健衛生所(東広島市)

東部畜産事務所・東部家畜保健衛生所(福山市)

北部畜産事務所・北部家畜保健衛生所(庄原市)

TEL 082 - 513 - 3604

TEL 082 - 423 - 2441

TEL 084 - 921 - 1311(代表)

TEL 0824 - 72 - 2015(代表)